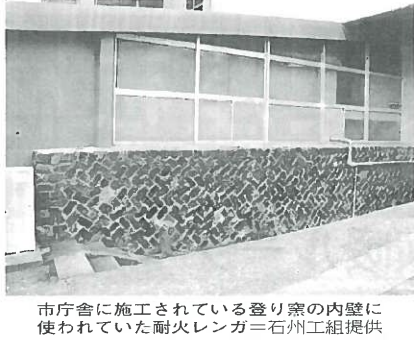


# 石州瓦 産地の市庁舎探る

## 江津市のシンポに250名

石州産地の石州瓦、島根県江津市は11月18日、Jリーグの市民交流施設「江津ひとまちプラザ」(愛称「パレット」)で「モダンな建築と江津市庁舎とを考へる」と題したシンポジウムを開催し、パネリストとして、江津市庁舎の建築設計などについて意見を交わされた。



市庁舎に施工されている登り窯の内壁に使われていた耐火レンガ＝石州工組提供

シンポジウムには、パネリストとして、江津市庁舎の建築設計などについて意見を交わされた。聴講者は建築を学ぶ学生や行政関係者、現役の建築士など県内外から250名。翌日は石州瓦の産地の見学会も実施。市庁舎は1962年に竣工した焼瓦根のRC造

5階建ての建物だが、ロビーを市民広場とするなど、「耐震としては最新の技術で市と建築家と施工者が一つになって実現した庁舎」として語り継がれている。2015年の庁舎設計などについて意見が交わされた。シンポジウムの建築士として、日本の近代建築の再評価のための活動を行っているDOCOMOの建築士など県内外から250名。翌日は石州瓦の産地の見学会も実施。市庁舎は1962年に竣工した焼瓦根のRC造

よる有効活用や新庁舎建設の可能性が検討されている。パネリストの石州瓦カッショウでは、壁と屋根に28万枚の瓦が使われた島根県芸術文化センター(愛称「カッショウ」)を設計した建築家の内藤廣氏(東京大学名誉教授)らがパネリストとなり、現市庁舎や未来の市庁舎の設計についてそれぞれの思いを語った。内藤氏は吉阪氏に師事した関係がある。この中で「現在の庁舎には、着が着かれてはいないものの、登り窯当時の耐火レンガが壁に使われているなど、産地への設計者の思いが表れている。や、今後とも、産地の建物づくりを意識していくことが大事」との意見も出た。

横書き「UMLーフ」植松グループが発売。静岡県沼津市で建築資材商社と製造業、建設業(株)植松と植松建築(株)を共同で植松孝康社長はこのほど、横書き金属瓦屋根材「UMLーフ」(O.N.E.)を発売した。

厚は0.35㎜、1枚あたりの重量は4.9kg。鋼板はトE鋼板(鋼のJラフトシリーズの「極みMAX」。これはガルバリウム鋼板を基材に高強度、高耐熱性ポリエステル樹脂や特殊複合樹脂を上塗り塗膜に使用などした高耐熱鋼板とされる。同社では「和風の家に合う仕上げ加工にも対応

「UMLーフ」は構造がしっかりして、耐久性に優れている(新築購入編)としてPRする内容。UMLーフは同工組ホームページからも聞くといい。

# 川越蔵の町で研修

## 影盛や小谷田瓦を探る

日本鬼師の会(菊地陽一郎会長)は11月19、20の両日、埼玉県川越市で第26回全国研修大会を開いた。同人会の埼玉開催は初で、約20名が参加したほか、地元の埼玉県西武瓦工業組合も協力し、新井庄作組合長ら組合員も参加して交流を深めた。

重要伝統的建造物群保存地区の蔵の町並みを見学。箱棟の蔵には鬼師制作の瓦瓦と左官職による漆喰で形作られる影盛がのり屋根が多い。蔵造り資料館では、復元された影盛の前で埼玉西武の組合員がその施工について解説する。鬼師たちは強い関心を示していた。

今大会の目玉の一つは、服部民俗資料館で復元された点にも及ぶ小谷田瓦。明治から昭和にかけて、埼玉の入間市で製造されていた、幻の

瓦。設置を担当した埼玉の富岡史副会長が、伝統技法研究会の藤井慎夫氏(南フジ瓦工業)と東京、同関係者の協力によって、同大会のために借りたもの。資料館では川越市文化財保護協会の服部安行(長が蔵の町の歴史などを講演、富岡副会長が小谷田瓦を解説。蔵の所写とも交流した。

伝説産地である深谷瓦を後世に伝えるための企画。初日には伝統的な「たたら製法」で地元の粘土を練り、木型の上で叩いて瓦を成形していき工程を組合員の小林國幸(57)、大澤幹雄(66)の両氏が実演して注目を集めた。

愛知県陶器瓦工業組合(野口安廣理事長)は11月より、CB(C)シオ放送中の三州瓦CMを変更した。CB(C)シオは愛知県、岐阜県、三重県で放送されている。同工組では11月より、三州瓦の新CMを放送中。11月から東海3県で、九州地区でのCM放送を開始。これに合

わけて地元でのCMも変更した。内容は九州でのCMに合わせて作られたもので、現在の瓦屋根はすべたの雨れたいのない(釘で止り、固定編)、「瓦の住

先は構造がしっかりして、耐久性に優れている(新築購入編)としてPRする内容。UMLーフは同工組ホームページからも聞くといい。

# 産地 伝統の製法を実演

## 磨きで「自分の顔写る」

埼玉県の深谷瓦工業協同組合(植竹一夫理事長、12社)と深谷市商工振興課は11月13、20日ま



深谷の伝統瓦展では手作りで実演。手前が大澤氏、奥が小林氏

期間中は、深谷瓦や瓦製造に使われた道具、当時の契約書などのほか、江戸時代の瓦の出荷水路図なども展示された。

厚は0.35㎜、1枚あたりの重量は4.9kg。鋼板はトE鋼板(鋼のJラフトシリーズの「極みMAX」。これはガルバリウム鋼板を基材に高強度、高耐熱性ポリエステル樹脂や特殊複合樹脂を上塗り塗膜に使用などした高耐熱鋼板とされる。同社では「和風の家に合う仕上げ加工にも対応

「UMLーフ」は構造がしっかりして、耐久性に優れている(新築購入編)としてPRする内容。UMLーフは同工組ホームページからも聞くといい。



小谷田瓦を前に講演を聞く日本鬼師の会メンバー

愛知県陶器瓦工業組合(野口安廣理事長)は11月より、CB(C)シオ放送中の三州瓦CMを変更した。CB(C)シオは愛知県、岐阜県、三重県で放送されている。同工組では11月より、三州瓦の新CMを放送中。11月から東海3県で、九州地区でのCM放送を開始。これに合

わけて地元でのCMも変更した。内容は九州でのCMに合わせて作られたもので、現在の瓦屋根はすべたの雨れたいのない(釘で止り、固定編)、「瓦の住

先は構造がしっかりして、耐久性に優れている(新築購入編)としてPRする内容。UMLーフは同工組ホームページからも聞くといい。

わけて地元でのCMも変更した。内容は九州でのCMに合わせて作られたもので、現在の瓦屋根はすべたの雨れたいのない(釘で止り、固定編)、「瓦の住

先は構造がしっかりして、耐久性に優れている(新築購入編)としてPRする内容。UMLーフは同工組ホームページからも聞くといい。

## 季節を問わず 雨水をブロック。

### ルーフラミテクト

シリーズ アスファルト不使用

屋根には気温に左右されない、より確かな防水が必要です。ルーフラミテクトは特殊ポリマー止水テクノロジーにより、低温時においても安定して高い止水性能を発揮し、過酷な環境下でも長期間その性能を維持します。

次世代ルーフィングの標準グレード

**ルーフラミテクト**

正味

透熱機能をプラス

**ルーフラミテクト 透熱タイプ**

正味 透熱

片面粘着でカットレス

**ルーフラミテクト 粘着タイプ**

正味 粘着

もっとECOで心地よく暮らしのために、

無料問合せ・資料請求はこちらまで

ハウジング資材販売部

東京本社・大阪支社・日中事務所(協邦)

**0120-12-1063**